

# 令和 4年度予算見積調書

課室名：情報システム戦略課  
 担当名：住基ネット・マイナンバー担当  
 内線：2679 (単位：千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業		
B17	番号制度基盤整備事業費	一般会計	総務費	企画費	企画調整費	情報政策推進費		
事業期間	平成26年度～	根拠法令	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律	針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール 9, 10, 16	
				分野施策	0805	デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsターゲット 9-1, 10-4, 16-9	
1 事業の概要	マイナンバーによる情報連携を行うための基盤システムである統合宛名システムの運用を行うとともに、情報連携利用課所への支援、庁内における個人番号の適切な取扱いの周知徹底、市町村への支援、県民への制度周知を行う。 (1) 統合宛名システムの運用 28,057千円 (2) 制度対応支援 6,039千円 (3) 中間サーバー交付金 11,866千円 (4) 特定個人情報保護評価の実施 224千円							
2 事業主体及び負担区分	(1) (3) (4) (県10/10)、(2) (国10/10) (県10/10)							
3 地方財政措置の状況	(3) ※運用・保守に係る経費について 普通交付税措置あり (単位費用算定)							
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×3.0人=28,500千円							
5 事業説明		(1) 事業内容 ア 統合宛名システムの運用 28,057千円 イ 制度対応支援 6,039千円 ウ 中間サーバー交付金 11,866千円 エ 特定個人情報保護評価の実施 224千円 (2) 事業計画 ア 統合宛名システムの運用保守、サーバーのクラウド移行作業を行う。 イ 情報連携に係る対応支援、庁内研修及び県民に対する制度周知等を行う。 ウ 自治体中間サーバーの管理に関する事務を地方公共団体情報システム機構に委任する。 エ 個人番号を取扱う事務の特定個人情報保護評価書について、有識者による第三者点検を実施する。 (3) 事業効果 ア 番号制度を導入・運用することにより、社会保障や税、防災に係る事務については、申請・届出のあった住民の所得等の情報を当該システムの情報連携により他団体から取得することができるようになり、従来の照会業務と比べ、業務の効率化が見込まれる。 (4) その他 前年度からの変更事項 ア 統合宛名システムサーバーのクラウド移行作業を行う。						
予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
決定額	46,186	国庫支出金	3,036				43,150	△9,949
前年額	56,135		4,072				52,063	